

## 指定都市市長会シンポジウム in 札幌

～スポーツがもたらす都市の豊かさ 東京 2020 を契機とした地方創生～

### 開催概要・アンケート結果

#### 1 開催概要

2月15日(土) 17:00～19:00 札幌市教育文化会館小ホール 参加者約300名

#### 北海道オール・オリンピックズトーク

阿部雅司氏、鈴木靖氏、成田郁久美氏、藤田征樹氏、本橋麻里氏

#### コメント抜粋

- 阿部さん：札幌で行われる競歩は、メダルを獲る確率がものすごく高い。日本人がメダルを取る瞬間が見られるのは、一生語り継げる。それを目の前で、地元で見れるというのは、二度とないと思う。
- 成田さん：バレーボールでいくと、リベロのポジションで道産子の選手が久しぶりに代表候補に入っている。江別市出身の山本選手をぜひ皆さんで応援してもらいたい。
- 藤田さん：東京パラリンピックでパラスポーツが注目され、2030年の札幌開催が決まれば、冬のパラスポーツも注目される。そうになると、健常者、障がい者関係なく、いろんな方がスポーツを楽しむようになり取り組むハードルがどんどん下がる。スポーツをしたいと思っている障がい者の方も積極的にチャレンジしていければよい。
- 本橋さん：もし札幌で開催されると、10年後。自分の子どもにも出場のチャンスがあると目を輝かせる親が多い。
- 鈴木さん：オール・オリンピックズの総勢451名のオリンピック・パラリンピアンが一丸となって2020を成功させ、2030に突き進みたい。

#### 大臣メッセージ 橋本聖子 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

#### コメント抜粋

- オリンピックというのはただ単にスポーツの祭典ではなくて、地球温暖化、食・感染症、エネルギーの問題といった世界が直面する大きな課題に、先進国家として、これらの問題を解決するためのヒントをこの大会でしっかりと世界に発信する。それが東京大会の役割。
- スポーツを中心に、医療や福祉、介護、食文化、地場産業、芸術、伝統、教育そして環境や観光をつなげ、SDGs＝持続可能な社会をつくりあげる。それが2020のレガシーであり、2030年にもつなげたい。

#### クロストーク 橋本大臣、小塚崇彦氏、林横浜市長、秋元札幌市長

#### コメント抜粋

- 林市長：全国20の指定都市が2030年大会の札幌招致を応援する。大会運営や選手観客へのおもてなし、文化プログラムやインフラ整備、ソフト・ハード、文化的にも札幌は素晴ら

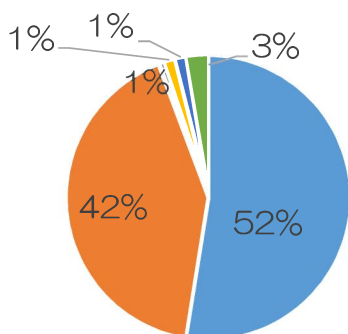
しい街。世界中の人にこの札幌を見せてあげてほしい。

○小塚さん：オリンピックとして地域経済の活性化に貢献したいという思いから、自ら企画立案したイベントを開催していきたい。こうした取組を通じて、2030年の札幌オリンピック開催に向けて、機運を盛り上げたい。

○橋本大臣：今の子どもたちに、スポーツを通じて自らを鍛え上げ、切り開き、困難に直面することがいかに大切なのかを教えるため、2020大会を最大の教育の場として、人づくりに向き合っていけるレガシーをつくりたい。

○秋元市長：この冬、今年は札幌も雪が少ないと言われた。まさに地球温暖化に対応していく方策を今、やっていかなければならない。2030年に札幌が目指している冬季大会は、SDGsの持続可能な開発目標の目標年次。今後の持続可能な社会を作るステップ、プロセスにする。

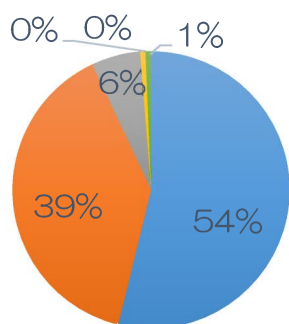
## 2 アンケート結果



Q シンポジウム全体を通じて、満足度は

- 1 非常に満足
- 2 満足
- 3 どちらでもない
- 4 やや不満
- 5 非常に不満
- 6 未回答

⇒「満足」と感じた参加者が全体の9割以上



Q このシンポジウムを通じて、オリンピック・パラリンピックへの興味が高まったか。

- 1 非常に高まった
- 2 高まった
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり高まらなかった
- 5 全く高まらなかった
- 6 未回答

⇒「高まった」と感じた参加者が全体の9割以上

### 自由記載（原文）

○自分の言葉で語れる元・現アスリートの凄みを体感しました。こんなに感動したシンポジウムは初めてでした。オール・オリンピックズの方々（大臣含む）の言葉を思い届ける手伝いをしたいと強く感じました。

○素晴らしいお話をありがとうございました。特に大臣のお話は感動しました。東京オリパラ、札幌冬季オリパラにつなげるためには、札幌市民として参加意識、当事者意識が必要。

○大臣の「未来への投資」というお話が、2030年大会招致の支持率アップのキーワードだと感じました。